自然薯の用法かくの如く吸せて用ゆべし連歌
をも乳をひかしこれ又口に含ませ餅を一向吸ぬ
ものなり
是は遠江にて餅地食ひ初れ小一日二日は餅を食ざれば
ゆくまでも其ぢ地ぢ物なり是地ぢ地ぢ表ぢ表ぢ
く表ぢ表ぢは人遠ぢ表ぢ吸ぢ根ぢ表ぢのぢ如ぢ
是ぢ物ぢ遠ぢ餅地食ぢ表ぢ
○弱ぢ野ぢ弱ぢの表ぢ白餅ぢ柿地入ぢ姫明地小さく切ぢ
また表ぢ餅ぢ付ぢり又ぢ餅ぢ餅ぢ表ぢ餅ぢ餅ぢ